

絵本選びに迷ったら、この一冊

読み継がれて
いる一冊を



ちいさいおうち (15分)
ばーじにあ・りー・ばーとん／ぶんとえ
いしい ももこ／やく 岩波書店
2001年改版 (1965年) 40p 24×25cm



こきげんならいおん (11分)
ルイーズ・ファティオ／ぶん
ロジャー・デュボアサン／え
むらおか はなこ／やく
福音館書店 1964年 32p 26cm



自然を知る
自分を知る
一冊を

勇気をもらえる
一冊を



からすたろう (8分半)
やしま たろう／ぶん・え 倍成社
1979年 35p 31cm



ゆうかんなアイーレン (7分半)
ウィリアム・スタイル／作
あがわ えつこ／訳
セーラー出版 (らんか社) 1988年 32p 27cm

絵本選びの参考になる本

- 『えほんのせかい こどものせかい』
松岡 享子／著 日本エディタースクール出版部 1987年
- 『よみきかせのきほん 保育園・幼稚園・学校での実践ガイド』
東京子ども図書館／編・発行 2018年
- 『子どもに定番絵本の読み聞かせを 選書眼を育てる60冊の絵本リスト』
尾野 三千代／編・著 児童図書館研究会 2021年
- 『小学校での読み聞かせガイドブック 改訂版 朝の15分のために』
湯沢 朱美 他／編著 プランニング遊 2014年
- 『絵本で学ぶSDGs』(別冊太陽 日本のこころ301)
絵本でSDGs推進協会／編 平凡社 2022年
- 『親地連がすすめるよみきかせ絵本250 高学年向 2004~2014』
親子読書地域文庫全国連絡会／編 絵本塾出版 2015年
- 『子どもの心を動かす読み聞かせの本とは 解説&ブックガイド400』
岡崎 一実・野口 武悟／編 日外アソシエーツ 2019年

愛媛県立図書館 子ども読書室のご案内

開館時間

- 子ども読書室 1階
午前9時40分～午後5時
- 一般図書室 3階・えひめ資料室 4階
火曜～金曜：午前9時40分～午後7時
土日祝日：午前9時40分～午後6時



休館日

- 月曜日 (祝日の場合は開館し、直後の平日が休館)
- 館内整理日 (毎月末日・その日が上記休館日または、土・日曜日にあたるときは館長が定める日)
- 年末年始 (12月29日～1月3日)
- 特別整理期間 (毎年3月中、10日以内)



掲載については出版社の許諾を得ています。無断での転載はご遠慮ください。

子どもとたのしむ

絵本の時間

小学3・4年生と一緒に読みたい絵本

子どもと本との豊かな出会いをめざして

たくさんあふれる絵本の中から、どんな絵本を選べばいいか、だれでも悩んだ経験はあるのではないでしょうか。

自分が好きな絵本を紹介することはもちろんですが、子どもたちには、いい絵本を読んであげたいですね。

このリーフレットでは、県下の小学校で読み聞かせボランティアをされている方々の経験をもとに、絵本を紹介しています。

読み聞かせボランティアを始めた方、読み聞かせボランティアをしているけれど本選びや読み方に悩んでいる方、また、お家で子どもに読んであげたいと思っている方に、このリーフレットが参考になれば幸いです。

読み聞かせは、
読み手である大人にも、
聞き手である子どもにも、
最高に幸せな
ひとときです。



子どもと一緒に
絵本の世界を
楽しみませんか？

当館発行リーフレット
「子どもとたのしむ絵本の時間 3・4・5歳児と一緒に読みたい絵本」
「子どもとたのしむ絵本の時間 小学1・2年生と一緒に読みたい絵本」
も、あわせてご覧ください。

愛媛県立図書館

県内で活動する読み聞かせボランティアにおすすめの絵本を教えていただきました！

読み聞かせアンケート

実施方法 当館ホームページにある専用フォームから投稿

内容 「読書ボランティアの経験をおもちの方にお聞きします！
小学校中学年（3・4年生）への読み聞かせで『よかったです』と思う絵本を一冊
教えてください！」

実施期間 令和4年10月14日（金）～令和4年11月20日（日）

投稿数 42件 43冊（続編も合わせての推薦があったため）

寄せられた声を参考に、職員で絵本を読んでみました。その中からご紹介します！



おかあちゃんがつくったる (10分)

長谷川義史／作 講談社 2012年 33p 25×27cm

長谷川義史さんの絵と関西弁・温かいストーリーが大好きです。笑えて、泣けて、心がほっこりする一冊。おかあちゃんのたくましさとわが子を思う愛情の深さ、家族愛、親子愛など心に響きます。

（みちみちみっちゃんさん）



なぞなぞはじまるよ (10分)

おおり 修司／なぞなぞ文 高島純／絵 絵本館 2016年 64p 22cm

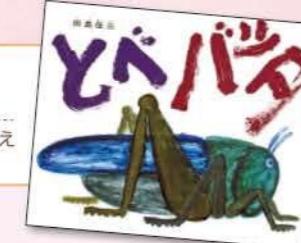
静かな視聴もいいのですが、レスポンスが飛び交う時間も大好きなので選びました。（emさん）※シリーズで刊行されています。



半日村 (7分)

斎藤隆介／作 滝平二郎／絵 岩崎書店 1980年 32p 29cm

聞き手の子どもと同じ年代の少年が主人公で、小さな子どものアイデアと行動力が、村全体に影響を及ぼすほどの大きな結果を残す、というストーリーに、子どもたちも引き込まれているようでした。（ゆきんこさん）



とべバッタ (4分)

田島征三／作 偕成社 1988年 36p 25×30cm

絵の迫力とがんばるバッタの心情が子どもたちに訴えるものがあると思います。（コスマスさん）



ストライプ (11分)

たいへん！しまもようになっちゃった

デヴィッド・シャノン／文・絵 清水奈緒子／訳
セーラー出版（らんか社） 1999年 32p 29cm

表紙のインパクトや絵の雰囲気。また、「自分は自分でいいんだ！」と思える内容が中学年あたりからしっかり伝わると思います。（まなさん）

ぼくはなきました (4分)

くすのきしげのり／さく 石井聖岳／え
東洋館出版社 2019年 32p 22×24cm

子どもたちのよさを認める、心温まるお話です。
（ゆみさん）



皇帝にもらった花のたね (8分)

デミ／作・絵 武本佳奈絵／訳
徳間書店 2009年 32p 26×26cm

「正直であること」について考えができる物語です。（柴ちゃんさん）

これはのみのびこ

(5分)

谷川俊太郎／作 和田誠／絵
サンリード 1979年 32p 29cm

繰り返しの部分を何回も聞いているうちに、子どもたちは思わず声出してみたくなるようです。最後にはいったいどうなるのかも想像してもう楽しい絵本だと思います。（じゅらさん）



ねずみのとうさんアナトール (13分)

イブ・タイタス／文 ポール・ガルドン／絵
晴海耕平／訳 童話館出版 1995年 32p 26cm

ねずみのとうさんの誠実さと、家族や友人の彼への信頼の気持ちがすてきです。なんともすがすがしい読後感があります。（すさん）

ぼくは、チューズデー (7分)

介助犬チューズデーのいちにち

ルイス・カルロス・モンタルバン／文
ブレット・ウィッター／共著 ダン・ディオン／写真
おひか ゆうこ／訳
ほるぶ出版 2015年 40p 24×24cm

写真が多く、補助犬についての理解や興味が深まると思います。（小学校の図書館支援員さん）



ありがとう、フォルカーセンせい

(13分)

パトリシア・ポラック／作・絵
香林弥須子／訳
岩崎書店 2001年 40p 29cm

学習への発達障がいを持った筆者の子ども時代のお話です。すばらしい先生に巡りあえた筆者の、たくさんの努力を一人でも多くの子どもたち、先生や大人たちに知ってほしいって読んでいます。（Oさん）



にじいろのさかな

(6分)

マーカス・フィスター／作
谷川俊太郎／訳
講談社 1995年 24p 30cm

人それぞれ個性があるから素晴らしいんだよ、ということが伝えられると思います。（重松さん）

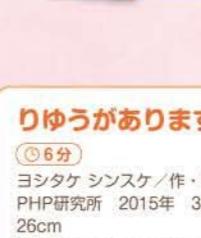


ヘルシーせんたい

ダイズレンジャー (8分)

やぎたみこ／作
講談社 2015年 34p 27cm

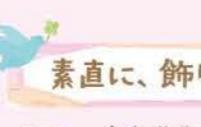
ダイズレンジャーが出てきて、大豆嫌いなお殿様をいさめて、大豆好きにするのが面白いです。（くっぴーさん）



りゅうがあります (6分)

ヨシタケシンスケ／作・絵
PHP研究所 2015年 32p 26cm

それぞれいろいろな理由があって、おもしろいです。
（まあちゃんさん）



どんぐりと山猫

(20分)

宮沢賢治／作 高野玲子／絵
偕成社 1989年 36p 29×25cm

意表をつけたストーリーで、聞く側の子どもたちを飽きさせません。（なるさん）



ぶす (14分)

内田麟太郎／文
長谷川義史／絵
ボプラ社 2007年 36p 26cm

読み聞かせボランティアの方が、学級に読み聞かせをしてくださった時に選んでくれた一冊です。内容が面白く、子どもたちが夢中になって、絵本の世界に入り込んでいました。（Mさん）

ぼくのたからもの

(7分)

鈴木まもる／著
アリス館 2015年 32p 26cm

お母さんのおなかの赤ちゃんが大きくなっているちょうどその時、家の庭にメジロが巣を作ります。赤ちゃんヒナの誕生、子育てを見守る「ぼく」と家族があたたかい絵で優しく描かれている、愛情いっぱいの絵本です。（みーやさん）



ふゆごもりのまえに

(8分)

ジャン・ブレット／作 こうのすゆきこ／訳
福音館書店 2020年 32p 22×27cm

挿し絵がとてもきれいで、見るたびに発見があるほど、描き込まれています。「ふゆごもり」と聞くと、さみしげな印象がありますが、この本ではそこが温かく伝わる内容になっています。（Atsukoさん）



素直に、飾り気なく、ゆっくりと。心をこめて読んであげてください。

凡例

- ◆ タイトル、所要時間、著者名、出版者、発行年、ページ数、サイズ、投稿者の紹介文（投稿者のニックネーム）の順で表記しています。
- ◆ ◎マークは所要時間です。所要時間は、あくまで目安です。
- ◆ 発行年は、入手可能な最新のものの発行年と初版の発行年（カッコ内）を併記しています。